

## 国営農地再編整備事業「東近江地区」の全体実施設計移行について

### 【概要】

東近江市(八日市地域)において、地域に残る狭小な農地、ほ場の排水不良および用水路からの漏水等により、効率的な営農に支障を生じている状況を踏まえ、自動走行農機等に対応した大区画整備や ICT を活用した水管理システムの導入等を内容とする事業を国が計画しています。

この事業は、担い手への農地の利用集積を進め、小豆、キャベツ、にんじん、たまねぎ等の高収益作物の作付けを拡大し、農業生産性の向上および農業経営の安定を図り、農業の振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的としています。

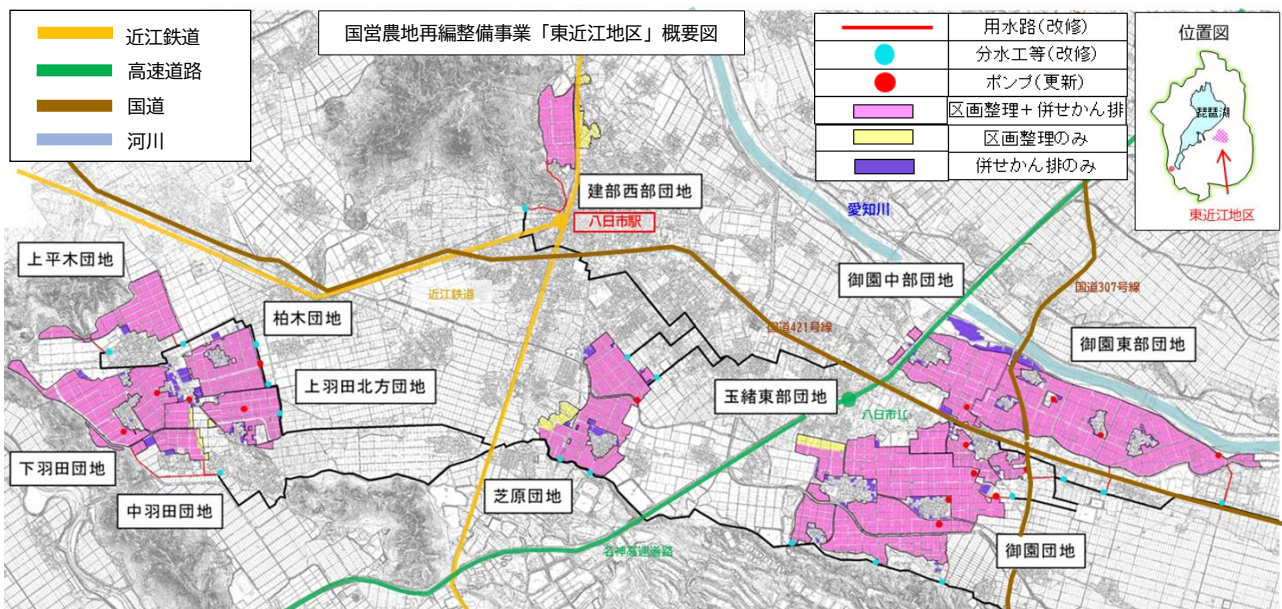
### 事業着手までのスケジュール

- ・ 令和3～5年度 地区調査(必要な対策やその技術的可能性等の検討)
- 令和6年度 **全体実施設計(詳細な施工計画や実施設計、換地計画原案の作成)**
- ・ 令和7年度(予定) 事業着手

年度	2018 (H30) ~ 2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7) 以降
事業進捗	地域整備方向検討調査 ● 営農計画・整備構想の検討	地区調査 ● 事業計画書(案)策定			全体実施設計 ● 法手続き開始	事業実施 ● 施行申請 ● 事業所開設 ● 工事着工

### 【事業計画】

- ・ 事業期間 令和7年度～令和20年度(予定)
- ・ 受益面積 681ha
- ・ 主要工事 区画整理(642ha)、用水施設の改修(5.9km)
- ・ 事業費 340億円
- ・ 負担割合 国2/3 県25.2% 市5.0% 地元3.2%



【スマート農業等に対応した区画整理】

- 区画整理及び農業用水施設を一体的に整備し、大区画化や管路化など自動走行農機等の導入に対応した基盤整備やICTを活用した水管理システムの導入等を図る。

■農地の大区画化

現況



現況(0.1ha~0.3ha 区画)



不整形で狭小な農地

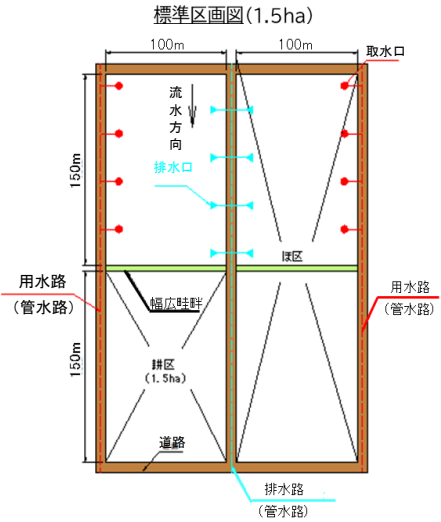
整備後



計画(1.0ha~1.5ha 区画)



大区画ほ場



■末端用排水路の管水路化

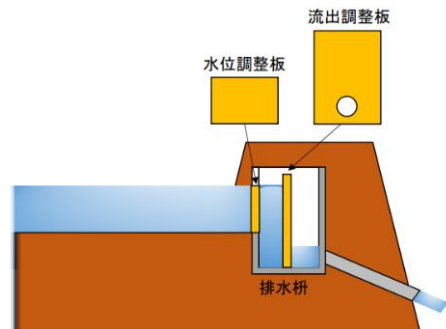
現況



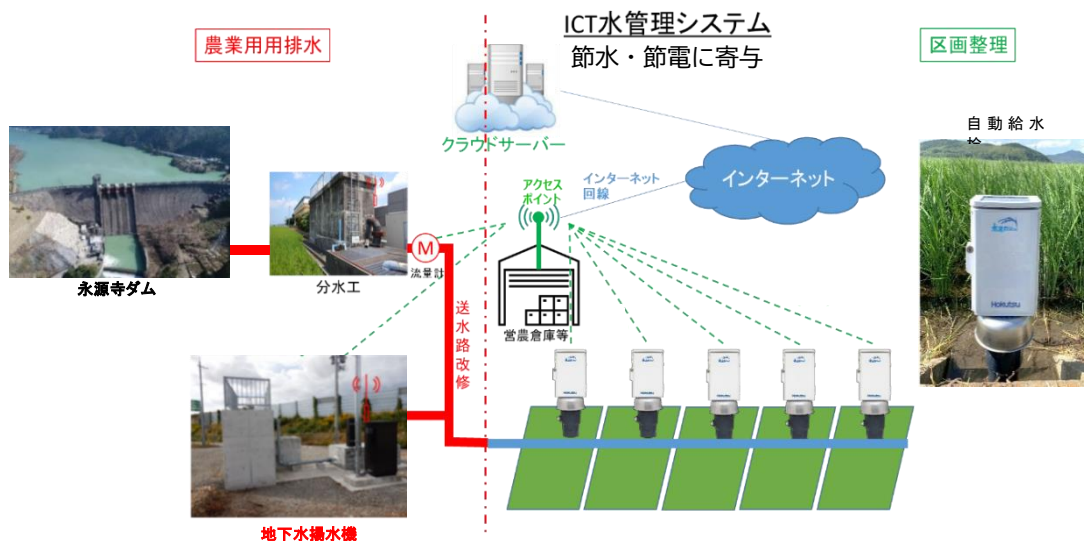
整備後



■国土強靱化に資する田んぼダムの整備



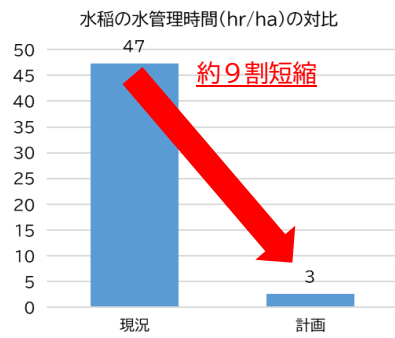
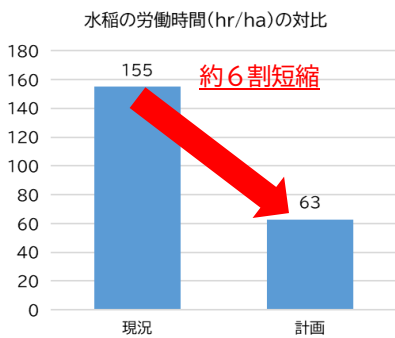
■用水路の改修に併せた ICT 水管理システムの導入



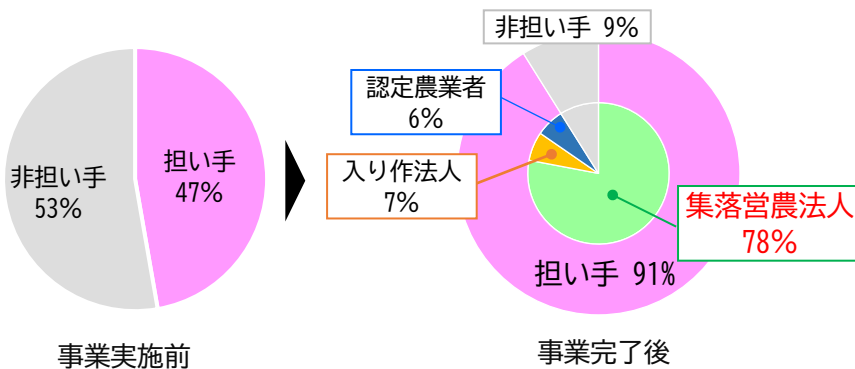
【事業の効果】

- ほ場の大区画化や末端用排水路の管水路化により、スマート農業の効率的運用が可能となり、労働時間が短縮。また、集落営農法人を中心とした担い手に農地を集積。
- 大区画化や用水施設の整備に併せて、ICT 水管理システムの導入により、水管理が省力化
- 省力化で生み出された余剰労働力を活用し、小豆、たまねぎなどの高収益作物生産拡大

■大区画化とスマート農機の導入 **労働時間の短縮**



■担い手への農地の集積 **集積率 47% ⇒ 91%**



■高収益作物の生産拡大 **作付割合 約5% ⇒ 25%**

